



2025年4月24日

各位

東京都新宿区西新宿一丁目26番2号
野村不動産ホールディングス株式会社
代表取締役社長 新井 聡
(コード番号：3231 東証プライム)

問い合わせ先 コーポレートコミュニケーション部長 有馬 芳郎
TEL：(03) 3348-8117

野村不動産グループ 経営計画策定のお知らせ

この度、野村不動産グループは、2026年3月期から2030年頃を計画期間とする新たな経営計画（以下「本計画」といいます）を策定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 本計画策定の背景と目的

当社グループは、2022年4月に中長期経営計画（計画期間：2023年3月期から2031年3月期、以下「前計画」といいます）を策定し、野村不動産グループ2030年ビジョン「まだ見ぬ、Life & Time Developerへ」を定めるとともに、2025年3月期の事業利益*1, 150億円、ROA4.5%水準、ROE9%水準、総還元性向40~50%を目標に掲げ、計画を推進してまいりました。その結果、2025年3月期の事業利益は1,251億円、ROAは5.1%、ROEは10.4%、総還元性向は45.9%と目標を達成いたしました。

今般、2030年ビジョンは踏襲しつつ、個々のお客様を起点にグループ全体で連携し、お客様の「幸せ」と社会の「豊かさ」を最大化する企業グループを目指すべく、成長戦略を再構築いたしました。なお、本計画は、2030年頃を終期とし、2030年ビジョンの実現に向けた長期の方針等を示す「長期経営方針」および、2026年3月期~2028年3月期における具体的な事業戦略等を示す「3カ年計画」から構成されております。

※事業利益 = 営業利益 + 持分法投資損益 + 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費 + 海外部門におけるプロジェクト会社の持分売却損益

2. 長期経営方針の概要

(1) 野村不動産グループ2030年ビジョンの深化

2030年ビジョン「まだ見ぬ、Life & Time Developerへ」を引き続き目指す姿として掲げ、価値創造手法の進化・変革を図りながら、人々の幸せと社会の豊かさを最大化する企業グループを目指します。我々が考える価値創造手法の進化・変革のポイントは以下のとおりです。

<価値創造手法の進化・変革>

- ・ アセットとサービス両面でのお客様視点の追求
- ・ お客様を軸としたグループ連携
- ・ お客様との持続的な共創と進化

(2) 財務指針

項目	指針
ROA	5%以上
ROE	10%以上
事業利益年平均成長率	8%水準
自己資本比率	30%水準
総還元性向	40～50%
年間配当金	DOE4%下限

3.3カ年計画の概要

(1) 利益計画

引き続き、8%水準の高い利益成長を実現します。

【事業利益（単位：億円）】

	2025年3月期実績	2028年3月期目標
住宅	487	630
都市開発	416	520
海外	66	110
資産運用	98	130
仲介・CRE	165	200
運営管理	119	110
その他・調整額	△102	△100
合計	1,251	1,600

(2) 事業方針

- ・ 基幹事業（分譲住宅事業・オフィス事業）において、デベロップメント分野とサービス・マネジメント分野の連携を一層強化しながら商品企画力とサービス力を向上させ、確固たるポジションを構築します。
- ・ 加えて、以下の①～⑤に注力することで、グループ全体で事業量の拡大を図り、持続的な成長を実現します。
- ・ 事業量の拡大とともにバランスシートを適切にマネジメントし、高い資産・資本効率と高い利益成長を両立します。

- ① 成長事業（賃貸住宅、ホテル、シニア住宅、物流施設）への重点的な投資
- ② 開発事業、賃貸事業における投資家資金の導入
- ③ グループ内連携、野村グループとの連携の強化
- ④ 海外事業の将来収益拡大に向けた取り組み
- ⑤ 戦略投資（M&A）による成長の加速

その他本計画の詳細は、<https://www.nomura-re-hd.co.jp/ir/management/plan.html>をご参照ください。